

名取川水系広瀬川 ～湯水対応タイムライン（湯水注意）～

名取川水系広瀬川においては、5月からの少雨により河川の流量の低下が続いており、早期の河川流況の回復が見込まれないことから、名取川水系湯水情報連絡会「広瀬川部会」では、5月13日から湯水対応タイムラインにおける「湯水注意」として関係機関毎の行動計画に伴い湯水対応を実施してまいります。

今後、雨の降らない状況が続くと更なる流況の悪化が懸念される場所ですが、ダム管理者、利水者等と連携しながら、河川流況の監視強化に務めるとともに、適正な取水管理や湯水時の迅速な対応のため関係機関との緊密な情報共有を図り、湯水被害の防止・軽減に努めます。

また、仙台河川国道事務所では、5月13日14時に名取川水系湯水対策支部（注意体制）を設置します。

<河川の流量：5月13日 9時現在>

◆ 広瀬川 広瀬橋地点
流量 0.37m³/s 湯水調整の判断基準：1.0m³/s

※ 流量については暫定値であり、確定値ではありません。

記者発表先：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

問い合わせ先

名取川水系湯水情報連絡会「広瀬川部会」
事務局 東北地方整備局 仙台河川国道事務所
仙台市太白区あすと長町4丁目1番60号
電話 022-248-4131（代表）

副所長（河川担当） みうら 三浦 としあき 俊明（内線204）

河川管理課長 かきざき 柿崎 のりかつ 憲勝（内線331）

■名取川水系渇水情報連絡会(広瀬川) 渇水対応タイムライン

広瀬川 広瀬橋地点 流量	大倉ダム (貯水率は 参考)	渇水の状況	渇水情報連絡会	河川管理者		ダム管理者	水利使用者				住民・事業者
				仙台河川国道事務所	県	大倉ダム管理事務所	かんがい用水	発電用水	上水道	工業用水	
1.0m ³ /s 超	~80% 程度	平常時	情報収集・情報共有 ▶定例会の開催 ・連絡体制の確保 ・河川管理者、利水者、関係機関の情報共有(名取川水系の状況等、今後の気象情報・予報等)	適正な河川管理 ▶名取川水系の状況・ダム水位・積雪深等把握 ▶適正な河川管理施設の管理 ▶河川巡視による日頃からの状況把握 ▶庁舎等の日頃からの節水	適正な河川管理 ▶広瀬川(県管理区間)の状況確認 ▶適正な河川管理施設の管理 ▶河川巡視による日頃からの状況把握 ▶庁舎等の日頃からの節水	適正なダム管理 ▶ダム情報(貯水位・補給量等)の確認 ▶適正なダム施設の管理 ▶利水計画に基づいた貯水池運用(弾力的容量を含む)	適正な施設管理と運用 ▶適正な取水量の管理 ▶適正な取水施設の管理	適正な施設管理と運用 ▶各発電所の適正な取水量の管理 ▶各発電所の適正な取水施設の管理 ▶ダム管理者(大倉ダム)との調整	適正な施設管理と運用 ▶適正な取水量の管理 ▶適正な取水施設の管理	適正な施設管理と運用 ▶適正な取水量の管理 ▶適正な取水施設の管理	平時からの節水 ▶日頃からの節水への意識向上 ▶事業所や一般家庭における節水
1.0m ³ /s 以下	~50% 程度	渇水注意	情報収集・情報共有 ▶臨時会の開催 ・渇水注意の状況周知 ・河川管理者、利水者、関係機関の情報共有(名取川水系の状況、ダム・ため池等の貯留状況、今後の利水者の取水状況、今後の気象情報・予報等) ・自主節水による協力の呼び掛け ▶大倉ダムからの補給要請検討 ・状況に応じ補給要請	適正な河川管理 ▶渇水注意レベルの対応 ・河川情報収集・共有(週5日) ・利水者の取水状況とりまとめ共有(週2日) ・河川巡視の強化(週2日)(水量、水温、瀬切れ、魚の斃死等の確認) ・水質調査の実施(異常時) ・臨時会への出席及び構成員との連携・協力 ▶大倉ダムからの補給要請検討 ・弾力的容量(7/1~9/30)の状況確認 ▶環境導水の検討 ・名取川(導水元)流量等を確認 ・釜房ダム弾力的容量(7/1~9/30)の状況確認 ・導水前の導水施設確認 ・名取川部会への情報提供 ・状況に応じ環境導水実施	適正な河川管理 ▶渇水時の対応 ・広瀬川(県管理区間)の状況確認 ・河川巡視の強化(水量、水温、瀬切れ、魚の斃死等の確認) ・状況に応じ低水流量観測 ・臨時会への出席及び構成員との連携・協力	適正なダム管理 ▶ダム情報(貯水位・補給量等)の確認 ・今後の補給計画検討及び情報提供 ▶利水者調整の実施 ・自主節水の呼び掛け ・調整会議の開催 ▶大倉ダムからの補給 ・弾力的容量の活用 ・情報連絡会長の要請に基づく放流 ▶臨時会への出席及び構成員との連携・協力	適正な施設管理と運用 ▶取水量の再確認 ▶取水施設の点検、整備等 ▶自主節水の検討 ▶臨時会への出席及び構成員との連携・協力	適正な施設管理と運用 ▶各発電所取水量の再確認・報告 ▶各発電所取水施設の点検、整備等 ▶ダム管理者との大倉発電所取水量調整 ▶ダムからの要請による弾力的容量の活用に伴う操作の実施(三居沢取水ダム) ▶臨時会への出席及び構成員との連携・協力	適正な施設管理と運用 ▶取水量の再確認 ▶取水施設の点検、整備等 ▶自主節水の検討 ▶臨時会への出席及び構成員との連携・協力	適正な施設管理と運用 ▶取水量の再確認 ▶取水施設の点検、整備等 ▶自主節水の検討 ▶受水事業者への渇水注意状況の周知 ▶臨時会への出席及び構成員との連携・協力	渇水情報の確認・節水の推進 ▶節水の意識向上 ▶事業所や一般家庭における節水
0.5m ³ /s 以下	~40% 程度	渇水警戒	情報収集・情報共有・取水調整 ▶臨時会の開催 ・渇水警戒の状況周知 ・河川管理者、利水者、関係機関の情報共有(名取川水系の状況及び被害状況、ダム・ため池等の貯留状況、今後の利水者の取水状況等、今後の気象情報・予報等) ・取水調整の検討・実施 ・節水の呼び掛け及び節水の実施 ・HPやSNS等による節水に関する広報の実施 ▶大倉ダムからの補給要請 ・状況に応じ補給要請	適正な河川管理 ▶渇水警戒レベルの対応 ・河川情報収集・共有(週5日) ・利水者の取水状況とりまとめ共有(週5日) ・河川巡視の強化(週5日)(水量、水温、瀬切れ、魚の斃死等の確認) ・水質調査の実施(異常時) ・HPやSNS等による節水に関する広報の実施 ・臨時会への出席及び構成員との連携・協力 ▶大倉ダムからの補給要請検討 ・弾力的容量(7/1~9/30)の状況確認 ▶環境導水の検討 ・名取川(導水元)流量等を確認 ・釜房ダム弾力的容量(7/1~9/30)の状況確認 ・名取川部会への情報提供 ・環境導水実施 ▶利水施設からの補給要請検討 ・ため池等からの補給可能であれば補給要請	適正な河川管理 ▶渇水時の対応 ・広瀬川(県管理区間)の状況確認 ・河川巡視の強化(水量、水温、瀬切れ、魚の斃死等の確認) ・状況に応じ低水流量観測 ・臨時会への出席及び構成員との連携・協力	適正なダム管理 ▶ダム情報(貯水位・補給量等)の確認 ・今後の補給計画検討及び情報提供 ・最低水位到達見込み確認 ▶利水者調整の実施 ・節水の呼び掛け ・調整会議の開催 ▶大倉ダムからの補給 ・弾力的容量の活用 ・情報連絡会長の要請に基づく放流 ▶臨時会への出席及び構成員との連携・協力	適正な施設管理と運用 ▶取水量の再確認 ▶取水施設の点検、整備等 ▶自主節水の検討・実施 ▶組合員等への節水の呼び掛け ▶番水制限の検討・調整・実施 ▶取水調整の検討・実施 ▶臨時会への出席及び構成員との連携・協力	適正な施設管理と運用 ▶各発電所取水量の再確認・報告 ▶各発電所取水施設の点検、整備等 ▶ダム管理者からの要請による大倉発電所取水制限および停止等の調整 ▶河川管理者からの要請および河川流量減少に伴う大堀・三居沢発電所の停止検討 ▶ダムからの要請による弾力的容量の活用に伴う操作の実施(三居沢取水ダム) ▶臨時会への出席及び構成員との連携・協力	適正な施設管理と運用 ▶取水量の再確認 ▶取水施設の点検、整備等 ▶自主節水の検討・実施 ▶HP等による節水に関する広報の検討 ▶他水源からの融通の検討 ▶臨時会への出席及び構成員との連携・協力	適正な施設管理と運用 ▶取水量の再確認 ▶取水施設の点検、整備等 ▶自主節水の検討・実施 ▶配水制限の検討・調整・実施 ▶受水事業者への渇水警戒状況の周知、節水に関する協力依頼 ▶臨時会への出席及び構成員との連携・協力	渇水情報の確認・節水の推進 ▶節水の意識向上 ▶事業所や一般家庭における節水 ▶自治体等から発信された広報の確認 ▶断水に向けた準備
0.1m ³ /s 以下	40%~	異常渇水	情報収集・情報共有・取水制限 ▶臨時会の開催 ・非常状況の周知 ・河川管理者、利水者、関係機関の情報共有(名取川水系の状況及び被害状況、ダム・ため池等の貯留状況、今後の利水者の取水状況、今後の気象情報・予報等) ・HPやSNS等による節水に関する広報の実施 ▶取水制限実施 ・各利水者で取水制限を実施	適正な河川管理 ▶異常渇水レベルの対応 ・河川情報収集・共有(毎日) ・利水者の取水状況とりまとめ共有(毎日) ・河川巡視の強化(毎日)(水量、水温、瀬切れ、魚の斃死等の確認) ・水質調査の実施 ・取水制限の検討 ・HPやSNS等による節水に関する広報の実施 ・臨時会への出席及び構成員との連携・協力 ▶環境導水の検討 ・名取川(導水元)流量等を確認 ・釜房ダム弾力的容量(7/1~9/30)の状況確認 ・名取川部会への情報提供 ・環境導水実施 ▶利水施設からの補給要請検討 ・ため池等からの補給可能であれば補給要請	適正な河川管理 ▶渇水時の対応 ・広瀬川(県管理区間)の状況確認 ・河川巡視の強化(水量、水温、瀬切れ、魚の斃死等の確認) ・状況に応じ低水流量観測 ・臨時会への出席及び構成員との連携・協力	適正なダム管理 ▶ダム情報(貯水位・補給量等)の確認 ・今後の補給計画検討及び情報提供 ・最低水位到達見込み確認 ▶利水者調整の実施 ・節水の呼び掛け ・調整会議の開催 ▶大倉ダムからの補給 ・弾力的容量の活用 ・情報連絡会長の要請に基づく放流 ▶臨時会への出席及び構成員との連携・協力	適正な施設管理と運用 ▶取水量の再確認 ▶取水施設の点検、整備等 ▶番水制限の実施 ▶取水制限の実施 ▶臨時会への出席及び構成員との連携・協力	適正な施設管理と運用 ▶各発電所取水量の再確認・報告 ▶各発電所取水施設の点検、整備等 ▶ダム管理者からの要請による大倉発電所停止の実施 ▶河川管理者からの要請および河川流量減少に伴う大堀・三居沢発電所の発電停止の実施 ▶臨時会への出席及び構成員との連携・協力	適正な施設管理と運用 ▶取水量の再確認 ▶取水施設の点検、整備等 ▶取水制限の実施 ▶HP等による節水に関する広報 ▶他水源からの融通 ▶被害発生への対応 ▶臨時会への出席及び構成員との連携・協力	適正な施設管理と運用 ▶取水量の再確認 ▶取水施設の点検、整備等 ▶取水制限の実施 ▶受水事業者への渇水非常状況の周知 ▶配水制限の実施 ▶他水源からの融通 ▶臨時会への出席及び構成員との連携・協力	渇水情報の確認・節水の推進 ▶自治体等から発信された広報の確認 ▶最低限の水利用 ▶広域的な断水時の対応

※貯水率:利水容量に対する貯水率(平成6年当時の洪水期における貯水率を参考)
 ※本タイムラインは渇水時の行動の目安とするため、過去の渇水対応を参考に作成したものです。
 ※体制については河川状況に基き気象や水利用の状況により変わることがあります。